

私たちの仕事：それはあなたの
QOL (Quality of Life : 生活の質) の向上です。

インプラントは歯の治療の中でも極めて自然で質の高いもののひとつです。高度な知識を持ち、経験のある歯科医師のみが患者さまの高い要求に応えることができます。

カムログはこのような歯科医師のサポートに全力を注いでいます。

関連する情報を得るためには下記ホームページ：

www.alta-dent.com をご覧ください。



インプラント治療で安全に、美しく

本社
〒530-0012
大阪市北区芝田2丁目8番31号
第三東洋ビル2F
TEL 06-6377-2221
FAX 06-6377-2223

東京支社
〒108-0072
東京都港区白金1丁目25番20号
プレシースビル本館4F
TEL 03-5420-2290
FAX 03-5420-4790

www.alta-dent.com

ALTA DENT
株式会社 アルタデント

camlog

camlog

笑顔——
それはあなたが手に入れる幸せ。



患者の皆様へ

この冊子は歯科インプラント治療に関する最も基本的な情報をご提供します。お読みになった上で、個別の治療に関しては歯科医師に詳しくご相談ください。本冊子の情報が少しでも皆様のお役に立つことを願っています。

人は何かを失って初めてその真の価値に気づくものです。理由の如何にかかわらず、何かを失うということは、人生における、大きな痛みと感ずることでしょう。

歯に関しても、失ってみて初めて、それがいかに皆様の自分らしさを保つために大切であったかを知ることになります。歯は一目見て自分と認められる証明書のようなものです。でも、それだけではありません。自分らしさと容貌は今日では私たち一人ひとりの社会的能力に欠かせない部分として、私生活や仕事に明瞭に繋がっているのです。

歯は美しく調和のとれた表情にとって不可欠な部分と考えられます。

健康で美しい歯はあなたに活力と自信、好ましさと魅力を与えてくれることでしょう。

インプラント治療とは、失った歯の部分のあごの骨に新たに人工の歯根を埋める治療法です。インプラント治療を行うことで、食事をしたり、笑ったり、おしゃべりを楽しむといったいつものライフスタイルを維持することができます。

現在のインプラント治療は比較的短い期間で、自分の歯と同じ感覚が得られる新しい歯を取り戻し、あなたに自信と明るさをもたらしてくれます。

本冊子で、インプラント治療の方法や治療によって改善された状態に関してご説明します。



歯の喪失—— 新しい歯の回復。



歯がなくても可愛い笑顔はつくれます。
でも一生そういうわけにはいきませんね。

人は生まれてきたとき、通常歯は見えませんが実際には存在しています。

そしてその後の人生の中でたくさんの働きをしてくれます。

当然のことながら歯にはそのダメージの影響が残っていきます。歯を喪失するリスクはどの年齢でも訪れる可能性があります。遊んでいるとき、スポーツをしているとき、あるいは虫歯になったり、歯槽膿漏（歯周炎）になるなどです。また、手入れが良くなかったり、栄養の不良や偏りも歯にダメージを与える原因となります。

歯を失った人はもちろん代わりの歯を求めます。その場合、交換する歯はできるだけ自然で、また機能も可能な限り再現できるものでなければならないわけです。

インプラント治療は多くの場合こうした個々の状況に適切な解決を与えてくれます。

10～15ページに例を挙げて説明します。

骨の成長が完了した後であれば、歯科インプラントはほとんどの年齢で利用可能です。高齢の方でも年齢だけが理由でインプラント治療が適用できないケースはまれです。

もっとも大切な条件は十分な量の骨があること、傷の回復速度が普通であること、骨質が良好であること、口の中の衛生状態が良好であることです。



インプラント治療は 医学的にも良好な解決法です。

ブリッジや入れ歯などの従来の治療法の場合、健康な隣の歯やあごの骨がダメージを受ける可能性があります。実際、骨は自然な荷重がかかることで、そのままの状態を維持できるのです。この自然な荷重は歯が骨に固定されている根の部分を通して骨に伝わります。歯の根というのは深く大地に広がった樹木の根や橋脚の土台部分に例えることができるでしょう。こうした歯の根が失われると、あごの骨に自然な荷重が伝わらず骨は次第に失われていきます。このような状況を経験した人も少なくないのではないでしょうか。

まず、隣の歯や入れ歯に長期的に過剰な荷重がかかります。そして、歯がぐらついてきたり、入れ歯が合わなくなってきた結果、自然な荷重が骨にかからず、骨が痩せてきて、残りの歯も失われていくことになります。適合の悪い部分入れ歯や総入れ歯は痛みの原因になったり、味覚を損なったり、食感や温度の知覚も減少させます。

こうしたことから、通常、入れ歯は常に調整しなければいけませんし、話したり、笑ったり、食べたりするときに不安感が伴います。

このようなことはインプラントでは起こりません。

従って、現在、世界中で一歯欠損から全顎治療まで、毎年数百万本のインプラントが埋入されているということは驚くに当たりません。こうしたインプラント治療（すでに30年以上臨床に使われています）に対する需要が近年増え続けています。

もちろんはじめは他の治療に比べて費用がかかりますが、長い目でみると従来のクラウン（歯冠）やブリッジによる治療より経済的な方法といえるかもしれません。



インプラントの役割はまず、あごの骨の中に根のように深く、しっかりと固定されることです。その上に新しい歯が自分自身の歯のようにしっかり繋がります。



インプラントとは？

インプラント本体は純チタンでできています。医療の分野において、生体適合性に優れた材料として長期にわたり使用されており、細胞組織との親和性に優れています。

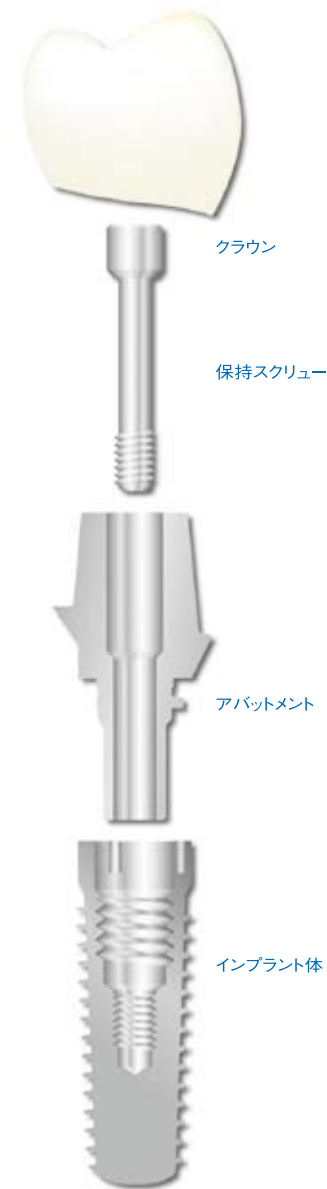
また、チタンはアレルギーが非常に少ない金属としても知られています。3つのパーツ、つまりインプラント体・アバットメント（歯の支台となる部分）・保持スクリューといった部品が互いに連結されます。これらの部品をつなぎ合わせると全長約2cmになります。歯科医師は様々な形状やサイズの異なるパーツを用いることで、多様な症例に対して最善の解決策を見つけることができます。右のページはインプラント体、アバットメント、保持スクリュー、クラウン（歯冠）の各部の拡大図です。

ケースによっては主治医が外科手術を自身で行わず、外科専門医に紹介する場合があります。口腔外科専門医は、主治医と一緒に診断と治療計画を立て、インプラントの埋入部分を受け持ちます。

次にインプラント治療において、しばしば直面するいくつかの場面を説明します。

高度な品質と安全性

近年のインプラントシステムは長年の臨床や研究の結果と最先端の技術を駆使して高度な管理の元に製造されています。



歯科医師は局所麻酔下で専用のドリルを使用して（図1、2）歯根型のスクリュー（インプラント）が適合する穴をあごの骨に形成し、インプラント体を埋入（図3）します。



図1



図2



図3

骨がしっかりとインプラントを保持し、約3～6カ月かけて骨が成長しインプラントに結合していきます。



図4

治療期間終了後、歯科医師がインプラントにアバットメント（支台）を挿入します。アバットメントにはクラウン（歯冠）がしっかりと連結されます（図4）。

歯が一本だけ欠損している場合。

歯を一本喪失した場合の歯と歯の隙間はインプラントとアバットメント（支台）によって回復することができます。そうすることによって、隣の健康な歯を削って支えにする（ブリッジ）必要がありません。

インプラント治療は従来の方法に比べて審美的に良好な解決策です。最新のセラミック材料を使用することにより、さらに自然の歯に近づけることができます。



一歯欠損時のインプラント治療は特に審美的な観点から優れた解決策と言えます。



歯が一本欠損した状態。



インプラントが骨の中で治癒した状態。



クラウン（歯冠）で修復された状態。

複数の歯が欠損した場合。

複数の歯を失って大小様々な欠損空隙^{くうげき}がある場合もインプラントによって修復できます。その場合、インプラントとアバットメント（支台）による固定性の修復が第一選択肢となります。欠損空隙が大きく、あごの骨が痩せていて、増骨もできないようなケースにはインプラントを利用した固定性ブリッジの代わりに、インプラントで維持できる着脱タイプの義歯も選択肢としてあります。従来の義歯に比べると、このインプラント維持の着脱式義歯は咀嚼時の安定性に優れています。

同じ側の歯列で奥の歯から数本欠損している状態を『遊離端欠損』と呼び、この場合、固定性の修復にはインプラントが最良かつ唯一の選択です。インプラント以外の方法としては部分入れ歯しかないでしょう。部分入れ歯ではクラスプと呼ばれる鈎状の維持部を隣の歯に架けるため、審美性や装着感が悪く、また、長期的には支台となる歯を傷めることにもなります。



4本のインプラントを用いた1歯ごとの修復例。

『遊離端欠損』の例です。インプラントの数は空隙の大きさやあごの状態、加えられる負荷によって変わってきます。



複数歯の欠損例（欠損空隙）。



2本のインプラントがあごの骨の中で治癒した状態。



インプラント2本でサポートされた3ユニットブリッジ。

歯をすべて失ってしまったら。

もしすべての歯を失ったとしても、総入れ歯しか選択肢がないというわけではありません。インプラントという選択も可能です。上顎も、下顎も固定式または着脱式のインプラント修復が検討できます。

入れ歯を装着している多くの人たちは、入れ歯が不安定だとか、一部分が強く当たって痛いとか不満をもちることがあります。入れ歯に接着剤を使用したり、補助的な固定器具を使っても長年に渡って満足のいく解決にはなりません。このような場合でも状況や要求に応じたインプラント治療が可能です。入れ歯の装着感^{はてつ}は埋入するインプラントの数が多いほど良好ですし、顎骨に埋入されたインプラントに直接補綴物が装着される固定式が最良となります。

着脱式の義歯がインプラントに装着された状態。



歯をすべて失った下顎。



下顎に埋入された4本のインプラントが治癒した状態。



テレスコープ（円錐状の二重冠）クラウンにしっかり連結される義歯。



バーアタッチメントにしっかり固定される義歯。



ボールアタッチメントにしっかり適合する義歯。

天然の歯と同じように――
でもそんなに時間はかかりません。



治療を受けるに当たって、計画された治療期間はおおよその目安でしかありません。それは個人の状態や、要求によって異なるからです。昨今、すぐに噛めるようにする即時荷重（イミディエートローディング）や、即時修復（イミディエートレストレーション）ということが取り上げられることがあります。しかし、こうした治療は例外的なもので、最適で理想に近い状態にある一部の患者さまにのみ可能で、かつリスクも比較的高いものです。

右ページに示す数字は平均的な予測期間であって、状況によればもっと治療期間がかかることもあります。例えばインプラントを埋入する前にあごの骨を増骨しなければならないときは期間も長くなります。

あごの骨が萎縮して不足している場合の増骨にはいろいろな方法があります。患者の皆様にとって適切な方法を歯科医師にご相談ください。症例によってはあなたの身体の他の部位（他の部分のあごの骨など）からあなた自身の骨（自家骨）を採取し、足りない部分に移植する場合があります。時間が経つとあごの骨と一体化して不足部分が増骨されます。

また、場合によっては自家骨ではなく代替骨材料の方が有効なこともあります。また自家骨と代替骨を組み合わせる方が良いでしょう。これらの骨材料はあなたのあごの骨の上に置かれ、骨に成長変化することによりインプラントに適切な安定した基盤となります。上顎では上顎洞と呼ばれる空隙の内壁粘膜を少しでも挙上し、その部位に骨材料を詰めて増骨するという方法もあります。この方法は『上顎洞底挙上術（サイナスリフト）』と呼ばれます。

カムログインプラントによる治療期間の例

1カ月：
計画と準備

インプラントの埋入
3～6カ月：
インプラントの治療期間

補綴治療の開始

1カ月：
技工所による補綴物の製作

最終補綴物の装着



インプラント

状況により治療期間は短くなったり長くなったりします。あなたの健康状態や生活習慣を歯科医師に正直にお話ください。そうすることで初めて正確なアドバイスができることになります。

治癒には時間と努力が必要です。



大切なこと

麻酔下で無痛的にインプラントが埋入された後は、特に大きな障害が起こることはないでしょう。通常は仕事を休む必要もありません。患部を適切に冷やすことにより大きな腫れを防ぎ、治癒を早めることができます。

インプラントを埋入し、周りの骨がより早くまた自然に治癒するためには、休息と、忍耐が特に大切です。インプラントに限らず手術後の治癒過程は全て時間を必要とするからです。

この治癒時間は骨の質や量といった要素に影響を受けます。

歯科医師に相談すると、この治癒期間にどうすればよいか正しくアドバイスを受けることができます。特に手術後の数日間はインプラントを埋入した部位にストレスがかかるようなことは避けなければなりません。

- やさしく効果的に口の中の衛生を保つようにしてください。そうすればインプラントの治癒過程を危険にさらす歯の付着物からのバクテリア感染を予防できます。
- 硬い食べ物は避けましょう。
- 喫煙やアルコール摂取はできるだけやめましょう。どちらも治癒の妨げになります。
- 過度な運動は避けましょう。



インプラントを長く使うには
適切な治療と定期的な検診が必要です。



適切なケアを行うことで90%以上のインプラントが10年経っても良い状態で保たれます。

インプラント治療はあなたに大きな利益をもたらす価値のある治療と言えます。適切な治療により人生を通して素敵な笑顔を維持することができますし、このことは科学的にも証明されています。しかしながら、適切な口腔内のケアが不可欠で、それによって初めてこの新しい歯による多くの利益を長期に得ることができるのです。

口腔内にバクテリアが増殖し炎症を引き起こすことがあります。このような炎症はインプラントにとってのリスク要因となります。

適切な清掃器具を使って毎日の口腔のケアをしっかり行うことが大変重要になります。歯科医院ではあなたの口腔にとって最適なケアの方法をアドバイスしてくれます。

上記のような適切なケアに加えて、一年に少なくとも2回は歯科医院でインプラントのチェックを受けるようにしましょう。また、専門家による歯のクリーニングを少なくとも一年に1回は受けて、取りにくい歯の付着物（プラーク）を除去してください。



歯科医師に気軽にご相談ください。



レントゲン写真で歯科医師があなたのあごの状態を確認します。インプラント治療をはじめる前には、他の部分の歯と歯ぐきも良好な状態でなければなりません。

どのような手術でも同じですが、インプラントについても事前に十分なカウンセリングが行われます。はじめに歯科医師はあなたの口腔状態、習癖、健康状態を正確に把握する必要があります。

詳細な治療と費用に関するプランニングによって、インプラントの治療過程やそれに関する費用をあらかじめ知ることができます。

目の前に広がっている展望をぜひ自分のものにしてください。インプラントに投資することで、あごの骨が萎縮することなく維持され、人工の新しい歯がしっかりと固定され、より良く快適に噛めるようになります。味覚も改善され、悩むことなく自信をもって笑顔で人と接することができるようになります。

